

教育研究上の目的

児童教育学科は、子どもを深く理解し、多様な人と協働するとともに、生涯にわたって学び続ける基本姿勢をもった人材の養成を目指し、大学と地域の学校等での実体験を通じた往還的な学びに基づいて、豊かな人間性と教職への強い使命感をもち、学校教育が抱える現代的な諸課題に対応できる実践力を身に付けた教員を養成することを教育研究上の目的とする。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

児童教育学科では、教育研究上の目的を達成するため、次の学生像を人材育成の方針とする。

1. 自律的に学ぶ姿勢や、時代の変化やキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていく態度を身につけている
2. 「チーム学校」の実現に向けて、多様な人と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に諸課題の解決に取り組む能力を身につけている
3. 特別支援教育・幼児教育・英語教育等への学びを究め、幼小及び小中の円滑な接続等に関する知識と技能を身につけている
4. 学校教育の今日的な諸課題を解決する能力を身につけている

そのうえで、次の資質および能力を有している者に「学士（教育学）」の学位を授与する。

①知識・技能

1. 子どもの成長や安全、健康管理に常に配慮して、具体的な教育活動を組み立てることができる
2. 子どもの特性や心身の状況を把握したうえで学級経営案を作成し、学級づくりに活かすことができる
3. 教科用図書の内容を十分理解し、分かりやすく学習内容や学習活動を組み立てるとともに、子どもの質問に的確に答えることができる
4. 自ら主体的に教材研究を行うとともに、それを活かした学習指導案を作成することができる
5. 基礎的な知識や技能について反復して教えたり、板書や資料の提示を分かりやすくするなど、基礎学力の定着を図る指導法を工夫することができる

②思考力・判断力・表現力

1. 他者の意見やアドバイスに耳を傾けるとともに、理解や協力を得ながら、自らの役割・職務を遂行することができる
2. 組織の一員として協調性や柔軟性をもって校務の運営に当たることができる
3. 保護者や地域の関係者の意見・要望に耳を傾けるとともに、連携・協力しながら課題に対処することができる
4. 子どもの声を真摯に受け止め、健康状態や性格、生育歴等を理解し、公平かつ受容的な態度で接することができる
5. 板書や発問、的確な話し方など基本的な指導技術を身につけるとともに、子どもの反応を生かしながら、集中力を保ち、関心・意欲を喚起する授業を行うことができる

③主体性・多様性・協働性

1. 誠実、公平かつ責任感を持って子どもに接し、子どもから学び、共に成長しようとする意識をもって指導に当たることができる
2. 教員の使命や職務についての基本的な理解に基づき、自発的・積極的に自己の職責を果たそうとする姿勢を持っている

3. 自己の課題に気づき、その解決に向けて、自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢を持っている
4. 挨拶や服装、言葉遣い、他の教職員への対応、保護者に対する接し方など、社会人としてのソフトスキルを習得し、実践できる
5. 気軽に子どもに声をかけたり、顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができる

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

児童教育学科では、教員として必要な資質や能力を養うために、講義・演習、実技、学校インターンシップ、教育実習等を通して、教育学や教育理論と教育実践との往還的な学習を深めるようカリキュラムを編成する。

各領域の学修過程は、次の通りとする。

◆初等教育教員養成分野

1. 小学校教員養成の基盤となる各教科・領域やその指導法、並びに、生徒指導や教育相談等について指導し、子ども理解に立った教育課程の編成や指導法を修得させる
2. 子どもの発達の実相に合わせた教育技術に関する知識や技能を理解させ、修得させることを目指す

◆学校教員実力養成分野

1. 多様な表現活動や演習等を通して、「初等教育教員養成分野」において身に付けた力を実際に教育活動として実践させる
2. 「チーム学校」の実現に向けて関係者と効果的に連携し、組織的・協働的に取り組むための力を育成する

◆特別支援教育分野・幼稚園教員養成分野・中等教育教員養成（外国語）分野

1. 児童教育学科が設定する3つの教師像（「特別支援教育についての高い専門性を有する小学校教員または特別支援学校教員」、「幼稚園と小学校の連携・接続を推進できる小学校教員または幼稚園教員」、「小学校と中学校の連携を図った英語教育を推進できる中学校（高等学校）教員」）に対応した能力を育成する
2. 今日的課題である「インクルーシブ教育の実現」「幼児教育と小学校教育との円滑な接続」「グローバル化に対応した教育環境の整備」等に対応可能な知識・技能、実践的指導力を育成する

◆学校実地研究分野・演習

1. 学びを現実社会に適応させ、自ら課題を発見し解決する能力を養う
2. 連携市との協定を基盤に学校教育現場に積極的に入ることにより、子どもたちとの触れ合いを通して教師としての意識や使命感を培う

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

児童教育学科では、学園歌「身をきたへ 心きたへて 世の中に たちてかひある 人と生きなむ」の精神に共感し、教員として明るく、しなやかで学び続ける意志を持ち、人間性が豊かでともに学ぶことを喜び、努力を惜しまず向上し続ける学生を求めている。

また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。

①知識・技能

1. 小学校教員免許や特別支援学校教諭免許、幼稚園教諭免許、中学校・高等学校教員免許（英語）の取得希望者で、取得に必要な高校までの教科・科目の基礎を身につけている
2. 教育に必要な幅広い教養を身につけるために、高校までの全ての教科・科目に関する基礎的な知識を身につけている
3. 会話表現や文章表現に必要な国語の基礎的な知識を身につけている

②思考力・判断力・表現力

1. 与えられたテーマについて必要となる情報を想起し、整理し、自分の考えを伝えることができる
2. 自己を分析し、他者に対して自己についてアピールすることができる
3. 質問や発問に対して臨機応変に答えることができる

③主体性・多様性・協働性

1. 自ら考え行動することができる
2. 集団の中で他者の考えを受け入れながら自分の考えも他者に伝えることができる
3. 課題に対して他者と協働して取り組むことができる